



学校だより 神橋

令和3年6月30日
横浜市立神橋小学校

7月号

豊かな学びを目指して

校長 判治 珠美

今年は梅雨入りが例年よりも遅くなりましたが、梅雨らしい日が続いています。正門近くのアジサイも雨に濡れ、青や紫、白など、色とりどりの花を咲かせています。



今年度、本校では重点研究として「主体的・対話的に学び合い、自分の考えを伝え合う力を高める学習をめざして」をテーマに、国語・算数で授業研究を行ってまいります。子どもたちの実態を踏まえた上で、目指す子ども像を共有し、そのために学年ごとに身に付けさせたい力を話し合い、それらを引き出し、育む授業実践を行っていきます。

子どもたちが学習の中で、自分の意見や思いを発言するには、それを聞き、受け止めてくれるクラス、友達の存在が欠かせません。「間違っていたらどうしよう。」、「こんなこと言ったら笑われてしまうかな。」、そんな心配で手を挙げられない子や、不安の中で手を挙げている子もいるでしょう。でも、教室は間違っているところです。また、いろいろな意見や考えがあって、いいのです。あるからいいのです。なぜ違うのかを考えることで、より理解が深まります。いろいろな意見を聞くことで、考えが広がり、深まります。そうして豊かな学びになります。子どもたちの豊かな学びの土壌は、友達を認め合う、あたたかいクラスです。重点研究を通して、そんな学級づくり、授業づくりを目指します。

「教室はまちがうところだ」

教室はまちがうところだ	みんなどしどし手をあげて
まちがった意見を言おうじゃないか	まちがった答えを言おうじゃないか
まちがうことをおそれちゃいけない	まちがったものをわらっちゃいけない
ああじゃないか こうじゃないかと	みんなで言い合うなかでだ
ほんとのものを見つけていくのだ	そうしてみんなで伸びていくのだ

～中略～

そんな教室 作ろうやあ

(蒔田 晋治・作/長谷川 知子・絵「教室はまちがうところだ」子どもの未来社)

6月24日に神奈川区の「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」がありました。毎年6年生がSDGsの視点で国際平和や人権問題について考えたことをスピーチします。今年度は3組の谷村 陽奈さんが学校代表として参加しました。谷村さんのテーマも「多様性を認め合う」ことです。自分の経験をもとに考えたこと、これからも取り組んでいきたいことについて堂々とスピーチし、区の代表に選ばれました。今後、横浜市の大会に進みます。